

2021年6月28日



## AI-OCR の導入による業務効率化の推進について

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、下記の通り、AI inside 株式会社（代表取締役社長 CEO 渡久地 択）が提供する、AI-OCR<sup>※1</sup> サービス「DX Suite（ディーエックススイート）<sup>※2</sup>」を導入いたしましたのでお知らせします。

当行は今後も、デジタルテクノロジーを活用して業務効率化をすすめ、お客さまの利便性向上を目指してまいります。

### 記

1. 背景・目的 当行は、第 21 次中期経営計画「未来創造業への進化」の主な戦略として「テクノロジーの活用」を掲げており、RPA<sup>※3</sup>等の DX<sup>※4</sup> ツールの活用を推進し、定型事務作業の自動化による効率化をすすめてまいりました。  
DX Suite は高精度文字認識 AI を搭載しており、これまで困難であった手書きの書類を読み取ることができます。  
DX Suite にて読み取った書類を RPA と連携させることで、一層の業務効率化を促進する目的で導入いたしました。
2. 対象業務 DX Suite によりお客さまにご記入・ご提出いただいた住宅ローン申込書の内容を読み取り、RPA により住宅ローンの審査に使用する補助資料を自動作成します。  
今後、相続受付業務等、対象業務を拡大していく予定です。
3. 導入効果 年間 1,000 時間程度の業務時間を削減見込み<sup>※5</sup>

※1 AI-OCR とは、人工知能を活用した文字認識技術のことです。

※2 「DX Suite」の詳細は、<https://dx-suite.com/>（外部サイト）をご参照ください。

※3 RPA (Robotic Process Automation) とは、コンピューターを用いて作業を自動化する技術のことです。

※4 DX (デジタルトランスフォーメーション) とは、IT (情報技術) が社会のあらゆる領域に浸透することでもたらされる変革のことです。

※5 対象業務は順次拡大予定であり、導入効果は現在予定している対象業務で算出しております。

以 上